

問五 中学生のAさん、Bさん、Cさん、Dさんの四人のグループは、「総合的な学習の時間」で地産地消について調べ、話し合いをしている。次の資料、グラフ1、グラフ2と文章は、そのときのものである。これらについてあとの問いに答えなさい。

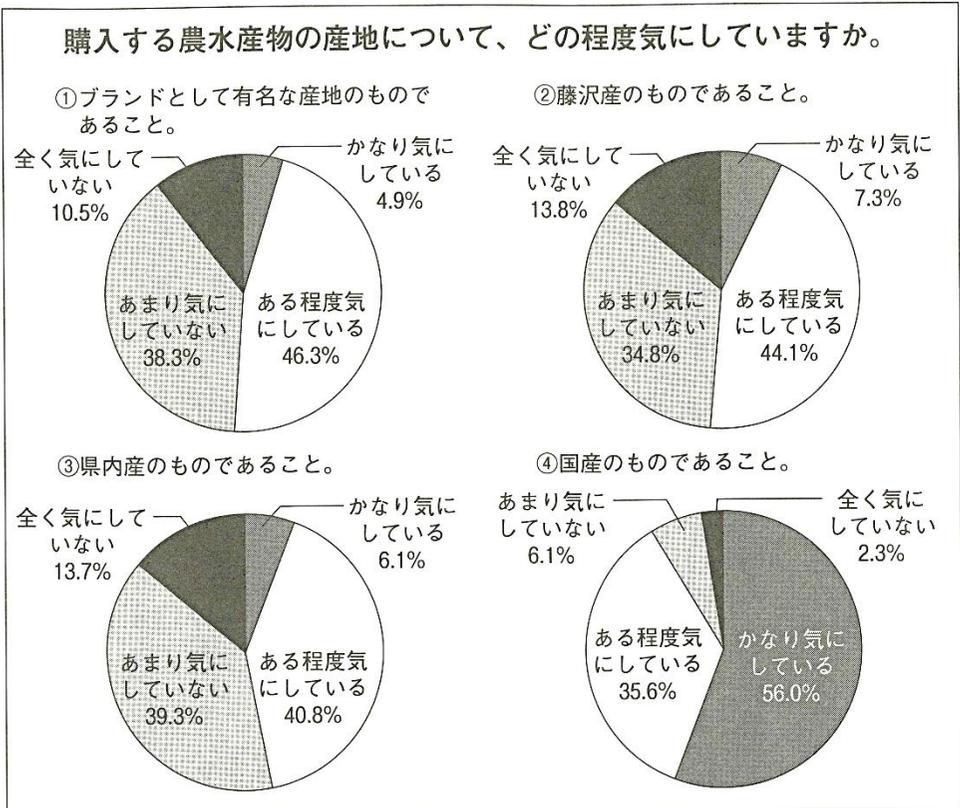
資料

地産地消とは、その地域で生産された農林水産物を、その地域で消費することを通じて、消費者と生産者が互いの距離を縮めようとする取り組みのことです。消費者の、より安全・安心な農林水産物が欲しい、より良いものを選びたいという要求の高まりから、「地産地消」の取り組みが各地域で活発に行われています。

また、国(農林水産省)では、「地産地消」が地域の消費者のニーズに合ったものを地域で生産するという側面もあることから、「地域の消費者ニーズに即応した農業生産と、生産された農産物を地域で消費しようとする活動を通じて、農業者と消費者を結び付ける取り組み」と位置付けています。

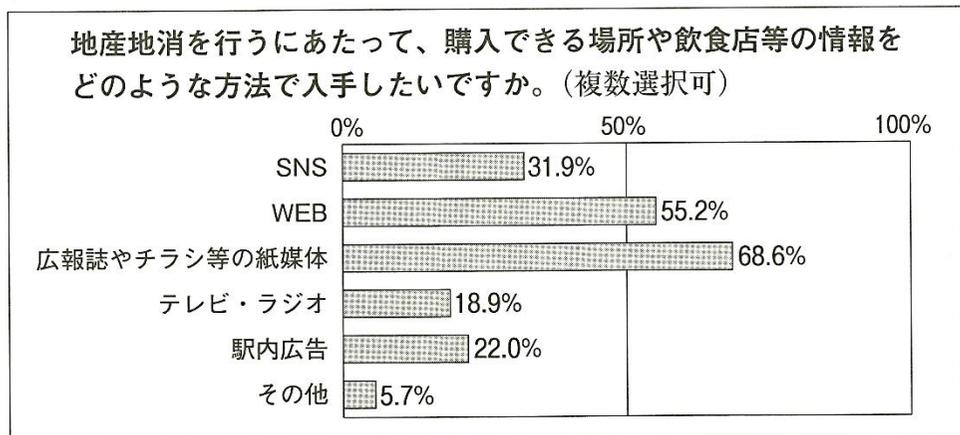
(農林水産省東海農政局ウェブページ「地産地消を知っていますか?」より作成。)

グラフ1



藤沢市「令和4年度 地産地消に関するアンケート結果」(2023年)より作成。

グラフ2



横浜市環境創造局農業振興課「令和元年度 農畜産物の地産地消に関するアンケート」より作成。

Aさん 最近話題のSDGsについて調べていると、地産地消という言葉をよく見かけます。今日は、

地産地消について、それぞれが調べてきたことをもとに考えましょう。

Bさん まずは、資料を見てください。地産地消とはどのような取り組みか書かれています。地産

地消とは、簡単に言えば、その土地でとれたものをその土地で消費することで、各地域では、「生産者による直売所での農産物の提供」や「スーパーマーケットにおける地産地消コーナーの設置」「地元の生産者と消費者との交流」などが行われています。

Cさん 生産者と消費者の結び付きを強めるために、多くの人々がさまざまなことに取り組んでいるの

ですね。この取り組みは、順調に進んでいるのでしょうか。

Dさん グラフ1を見てください。藤沢市民に対して、農水産物を購入するとき、どの程度産地を気にしているかをアンケート調査したものです。これを見ると ことがわかります。

Bさん 地域に対するこだわりはあまりないようですが、国産かどうかを気にしている人は多いようですね。

